

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 3月 15日

事業所名 ギフトリゾート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		バーテーションなどで仕切ったり個室を使用したりしている	
	②	職員の配置数は適切である	8			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	建物の構造上完全なバリアフリーとはなっていない	今のところ完全なバリアフリーでないことに不便が無いため改善していない
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		定期的に研修を行っている	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		季節に応じた活動や製作を行っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		経過記録記入時やその都度気づいたときに振り返りや情報共有している	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在、該当者がいない
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在、該当者がいない
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者との連携	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		状況に応じて情報交換の場を設けている	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8		公園などの戸外活動では一緒に遊ぶ機会を作っているが、まだ感染症の心配もあるため積極的には計画していない
	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		8		まだ感染症の心配もあることと地域の行事に参加するには時間帯が合わないこともあり中々参加が難しい
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	7	1		保護者個々に話を聞いたり助言を行っているがプログラムを打ち出してはいないので今後考えていきたい
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に細かく説明している	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		計画書の説明時きちんと同意を得るようにしている	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		電話や面談、送迎時にも助言を行っている	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8		保護者間の関りをあまり望まれない傾向にあり積極的に考えていない
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		相談は随時受付相談室も別室設けている	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月、活動予定や事業所での様子を知らせる「おたより」を発行している。SNSを活用し、活動内容や写真をアップしている。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	8		必ず鍵付き書庫に保管する。取り扱いを職員研修で周知している。	
③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8			
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		マニュアルが置かれ定期的に職員間で話し合っている	子どもと共に実施していることを計画表で伝えているが、保護者に周知できていないように思うので、より細かく文書等で伝えるようにする
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		毎月一回必ず避難訓練をおこなっている	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8			
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			除去するまでの該当者がいない為、行っていないが今後対応していきたい。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	様式を準備し、使用すること無いように日々話し合いを設けている	事例作成の機会が殆どなく、職員間で周知できていなかったようなので全員に伝えた。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		定期的に研修会を行っている	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名 ギフトリゾート

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8			学習、遊びの部屋を分 けたり個別で活動できる スペースがある	
	②	職員の配置数は適切である	5	3			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	7		1		今のところ完全なバリアフリーでない ことに不便が無いため改善してい ない
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り) に広く職員が参画している	4	4			広く周知できるようにしていきたい
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげている	8				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	8				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	8			定期的に様々な研修会 が行われている	
適切 な支 援の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成している	8			職員間で情報共有しな がら計画書を作成してい る	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	8				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	8				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	8			一人一人に合わせた学習プ リントを準備し、計画を立て て色々な経験ができるよう にしている	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7	1			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	8			個々に合わせた計画を 作成している	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	8				
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	8			経過記録記入時やその 都度気づいたときに振り 返りや情報を共有してい る		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			一人一人をよく観察した り関わったりして記録を 取り日々振り返って改善 して	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	8				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	8				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわし い者が参画している	8				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡 調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡）を適切に行っている	8				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	8				現在、医療ケア児がいないが必要があれば整えていく
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間で 情報共有と相互理解に努めている	8				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等している	2	5	1		現状卒業生がまだいない。今後情報 提供していく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修を 受けている	8				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	1		7		まだ感染症の心配があり他施設の子 どもとの交流は積極的には行ってい ない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	1	5	2		今後機会を設けて参加したい
保	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	8			送迎時を利用して保護 者と共通理解できるよう にしている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っている	7		1	トレーニングとは打ち出 していないが保護者 個々に話を聞き助言して いる	今後積極的に取り入れていきたい
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8			契約時にきちんと説明し ている	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			相談には迅速に対応し ている。相談室でゆっくり 話ができるようにしている	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している			8		まだ感染症の心配があることと保護 者が集まる時間確保が難しい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			毎月、活動の様子や予定を手紙でお知らせしている。SNS等を活用し日々の様子を発信している	
	③⑤	個人情報に十分注意している	8			書類は必ず鍵付き書庫で管理している。取り扱いについては研修会を行っている。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8				
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8				
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			利用者が毎日の利用ではないので、毎月曜日を変えて訓練を行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			定期的に研修が行われている	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8				
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				現在、除去する該当者はいないが必要に応じて医師の指示所に基づいて十分気を付けて対応したい
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

|

